

ながめま

JAながめま青年部通常総会



第21回JAながめま青年部通常総会

JAながめま女性部通常総会



第21回JAながめま女性部通常総会

第21回通常総会



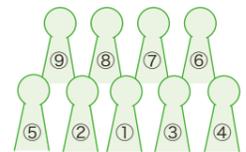
1月9日農協本所大会議室において、JAながぬま青年部第21回通常総会が開催されました。総会では、平成26年度の事業報告・収支決算報告、平成27年度の事業計画(案)・収支予算(案)や役員改選などについて審議され、原案通りに承認されました。新部長には、25区東山哲智氏が選出されました。

平成27年度の青年部役員は次の通りです。

部長	東山 哲智 (25区) ①
副部長	南 貴文 (14区) ②
副部長	田中 大輔 (5区) ③
事業部会長	三浦 悟 (17区) ④
事業部会長	大波 弘明 (22区) ⑤
農産部会長	近藤 元 (28区) ⑥
農産副部長	桃野 修二 (8区) ⑦
監事	山口 泰朋 (26区) ⑧
監事	佐々木 祐太 (21区) ⑨
顧問	桃野 一太 (10区) ⑩
参事	北内 洋一 (7区) ⑪
参事	巻内 祥之 (8区) ⑫



南支部 支部長	長岡 憲史 (17区)
南支部 副支部長	工藤 寛明 (25区)
舞鶴支部 支部長	水林 靖晃 (23区)
舞鶴支部 副支部長	窪田 秀樹 (24区)
中央支部 支部長	谷口 清美 (10区)
中央支部 副支部長	谷口 勝利 (9区)
幌内連合 代表	菊池 翔太 (18区)
幌内連合 副代表	秋葉 遼平 (18区)



就任挨拶



部長 東山 哲智

日頃より、私たち青年部に対しまして皆様より特段なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、1月9日に開催いたしました第21回通常総会において、平成27年度役員及び事業収支予算についてご承認をいただき、晴れて新体制での出発となりました。

私自身、リーダーシップを発揮して、全力で青年部活動に取組んでいきたいと思っております。

さて、昨年を振り返りますと雪解けは平年より遅く、4月下旬以降は高温・寡照傾向で播種・移植作業は順調に行われましたが、6月下旬以降は雨が少なく一部作物で生育作業が遅れが生じ、8月下旬・9月中旬に局地的な大雨の影響により、収穫作業に苦労した年となりました。

水稲の作況指数は南空知108の「良」となりましたが、登熟のばらつきから、青未熟粒が

多く、作況指数の「良」が感じられませんでした。小麦は生育が早まったこともあり、平年作を下回ることも想定しておりましたが、まずまずの製品収量となりました。

大豆は順調な生育から受入計画を上回る結果となりました。野菜につきましては、異常気象により品質の低下や収穫量に差がありました。農業政策につきましては、TPP交渉問題や農業制度改革の動きなど、どのように行っていくか注意していく必要があると思っております。

このような時代にこそ、生産者としての自覚を高め、いろいろなこと目に向け自分たちの想いや考えを消費者や関連・上部組織に発信することが重要であると同時に現状を打破する意気込みをもつことが青年部活動に求められると考えます。そこで、今年度は次のことを重点目標として掲げます。

- ① 盟友相互の親睦を深めるとともに変わり行く農業情勢を把握し、地域の担い手として積極的に組織活動を実践する。
- ② 全盟友の力を結集し、地域の活性化に努める。
- ③ 青年部活動を通じて消費者との情報交換に努め、食と農を守るために互いの意識向上を目指す。

これらの目標を達成するため、盟友並びに各関係機関の皆様に対しまして、ご協力・ご支援を賜りますことと、本年度が幸多き豊穰の秋を迎えられますことを祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

事業部会長 三浦 悟



この度、1月9日に開催いたしました第21回通常総会において、事業部会長を任せていただくことになり責任の重大さを感じています。一年間盟友の皆様にとって意義のある活動ができるように頑張りたいと思っております。

さて、事業部では、平成27年度活動方針を次のとおり掲げます。

- 平成27年度活動方針
- ① 組織活動の強化
- ② 情報活動
- ③ 農業関係誌の購読促進

組織活動の強化では、スポーツ大会、女性部体育大会協力、マオイ夢祭り参加、親睦会などの活動を通じ、盟友相互の親睦や各関係機関との連携を深めていきたいと考えております。情報活動では、情報技術プロジェクトによる勉強会の開催やブログの発信、スノーメッセージでは、雪山に私たち青年部の想いを込めた巨大なメッセージを作り、たくさんの人々にPRをしていきます。

農業関係誌の購読促進では、盟友の皆様に関係誌を購読していただけるように推進してまい

ります。
これらの活動に対して、盟友並びに各関係機関のご理解を賜りますことをお願い申し上げます。任の挨拶とさせていただきます。



農産部会長 近藤 元

この度、1月9日に開催いたしました第21回通常総会において、農産部会長を任せていただくことになり責任の重さを感じ身の引き締まる思いであります。青年部盟友が互いに議論を深め、ながめま農業のさらなる発展に繋がるように努力していきたいと考えております。
さて、農産部では、平成27年度活動方針として次のとおり事業を取組んでまいります。
平成27年度活動方針

①農産物付加価値の向上

農産物付加価値の消費拡大活動
農産物付加価値の向上につきましては、農産部プロジェクトを主体に農産物付加価値の向上やながめま産農産物のブランド形成事業に努めてまいります。

②地場農産物の消費拡大活動
地場農産物の消費拡大活動においては、野菜直売実行委員長を中心に直売活動などを通じ

て、安全・安心な「ながめま産農産物」を消費者と会話をしながら求められる方法で販売していきたいと思っております。
最後に盟友並びに各関係機関の皆様のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。任の挨拶とさせていただきます。

● 農業振興に役立てて

平成26年12月19日高瀬前専務理事のご遺族で高瀬裕也さん(15区)が来組され、10月26日逝去された高瀬和憲さんの葬儀に対するお礼とながめま農業振興に役立てていただきました。100万円のご寄付をいただきました。



永井組合長から「亡くなられた高瀬専務の遺志を受け、農業振興に役立たせて頂き、今回のご寄付に深く感謝申し上げます。」とお礼の挨拶をされました。

伊勢神宮新穀感謝祭で
農事功労者顕彰を受賞



この度、地域農業の振興、発展に長年にわたり取組んだとして、12月12日、三重県の伊勢神宮で執り行われた第60回新穀感謝祭で、市街地区の牧野順弘さんが農事功労者顕彰を受賞しました。

牧野さんは酪農経営で昭和44年より経営参画、研究熱心であり、農業経営の拡大発展に積極的に取組み、昭和56年には、全日本ホルスタイン共進会で、農林水産大臣賞を受賞。現在も生乳生産で活躍されています。

また、合併以前より農協総代を継続して現在も努められています。
今回の顕彰は、各都道府県農協中央会と神社庁都道府県支部の推薦を受け、農林漁業への振興・発展に対するご尽力が認められたものです。同顕彰は、全国で29名、道内で2名の方が受賞されました。



女性部情報ネットワーク

第21回通常総会開催

1月14日に農協本所大会議室において、JAながめま女性部の第21回通常総会が開催されました。

総会では中川部長の開会挨拶に始まり、永井組合長、戸川町長よりご祝辞を賜った後、平成26年度事業報告・収支決算・平成27年度事業計画(案)・収支予算(案)や理事改選などの議案について審議され、原案通り承認されました。



午後からは北海道厚生連配置薬課・管理栄養士坂本直子氏を講師に招き「食事でアンチエイジング(老化をゆるやかに)」と題して講演をしていただき、免疫力をつける食事を考えましょう、「口コモティブシン

ドROOM(運動器障害により要介護になるリスクが高い状態)の予防の食事を考えよう」など、いつまでも若々しく元気に活動できるためにも、免疫力を上げて、体に必要な栄養を取る、食事の大切さを学びました。一時間程のお話でしたがみなさんとても感心を持たれていました。



平成27年度の事業推進員の皆さんです
よろしくお願いたします

(敬称略)

区	事業推進員	区	事業推進員	区	事業推進員	区	事業推進員
1区	矢田 博	9区	川口 学志	17区	新谷 正寿	25区	齊藤 正義
2区	國田 文雄	10区	佐藤 智範	18区	秋葉 信勝	26区	津島 敏一
3区	小針 浩嗣	11区	奥村 芳樹	19区	山本 好美	27区	森出 正志
4区	玉手 豊典	12区	谷本 信一	20区	川南 尚悟	28区	山田 信男
5区	池畑 栄次	13区	栗林 邦幸	21区	尾崎 裕司	29区	堂田 忠
6区	高木 将光	14区	山崎慎太郎	22区	福島 大豊	30区	松本 守
7区	黒田 泰明	15区	中村 譲	23区	高橋 真二	31区	横山 一彦
8区	仲山 政彦	16区	木村 泰法	24区	水岡 清一	市区	黒田 浩

労災保険に加入しましょう

農作業での死亡事故は北海道で年間20件前後、負傷事故は2,500件前後発生しています。万が一の事故にそなえて労災保険に加入しましょう。

労災保険は、本来、労働者の負傷、疾病、傷害、障害、死亡などに対して保険給付を行う制度ですが、労働者以外の方であっても、その業務の実情や災害の発生状況などからみて、特に労働者に準じて保護が必要があると認められる一定の方々に対して特別に任意加入を認めています。

	特定農作業従事者	指定農業機械作業従事者
加入条件	■年間の農業生産物総販売額300万円以上または経営耕地面積2ヘクタール以上の規模で、①土地の耕作、開墾 ②植物の栽培、採取 ③家畜の飼育の作業を行う自営農業者。(労働者以外の家族従事者を含みます)	■自営農業者(労働者以外の家族従事者を含みます)であって指定農業機械を使用し、土地の耕作、開墾または植物の栽培、採取を行う者。
作業限定	■農業者が、農作業場で行う耕作などの作業(「土地の耕作や開墾」、「植物の栽培や採取」、「家畜(家きんやみつばちを含む)や蚕の飼育作業」)のうち、次のア～オのいずれかに当たる作業を行う場合(その作業に直接付随する行為を含む) ア 農作業場で動力により駆動する機械を使用して行う作業 イ 農作業場の高さが2メートル以上の箇所において行う作業 ウ 農作業場の酸素欠乏危険場所(サイロ、むる等)で行う作業 エ 農作業場において農薬を散布する作業 オ 農作業場において牛・馬・豚に接触し、または接触するおそれのある耕作等作業。 ※家畜は牛・馬・豚であり、羊・鶏は含みません。 ※鎌・包丁によるブロッコリー等の収穫作業中の負傷は補償の対象となりません。	■農業者が、ほ場またはほ道の作業場において指定農業機械を使用して行う作業及びこれに直接付随する行為を行う場合。(機械の種類) ①動力耕うん機その他の農業用トラクター ②動力溝掘機 ③自走式田植機 ④自走式スピードスプレアー その他の自走式防除用機械 ⑤自走式動力刈取機、コンバインその他の自走式収穫用機械 ⑥トラックその他の自走式運搬用機械 ⑦次の定置式機械または携帯式機械 ・動力揚水機 ・動力草刈機 ・動力カッター ・動力摘菜機 ・動力脱穀機 ・動力剪定機 ・動力剪枝機 ・チェーンソー ・単軌条式運搬機 ・コンベヤー ■農業者が指定農業機械をほ場などの作業場と格納場所との間において、運転または運搬する作業(苗、防除用薬、堆肥などを共同育苗施設などからほ場などの作業場へ運搬する作業を含みます。)及びこれに直接付随する行為を行う場合。
保険料等の額 (27年4月現在)	■保険料等の額は給付基礎日額1,000円に対し、3,650円になります。 ■給付基礎日額とは、労災保険の給付額を算出する基礎となるものです。特別加入を行う方の所得水準に見合った適正な額を申請していただき、所轄の労働基準監督署を経由して北海道労働局長が承認した額が給付基礎日額となります。(給付基礎日額は3,500円、4,000円、5,000円、6,000円、7,000円、8,000円、9,000円、10,000円、12,000円、14,000円、16,000円、18,000円、20,000円、22,000円、24,000円、25,000円のいずれかとなります)	■保険料等の額は給付基礎日額1,000円に対し、1,460円になります。

補償対象作業の範囲が広い「特定農作業従事者」への加入をおすすめします。
加入・脱退・日額変更の手続きは、農協取引印ご持参の上、3月2日までに本所営農企画課へお申込みください。

雇用労働者の労災保険加入手続きはお済みですか？

以下の農業経営形態の場合、雇用労働者(アルバイト・パート含む)の労災保険加入手続きを行わなければなりません。

- 法人経営を行っている場合
- 個人経営で、5人以上の労働者を常時雇用している
- 個人経営で、労働者を雇用しており自らが農業労災に特別加入手続きをしている

事業主が故意または重大な過失により加入手続きを怠っていた期間中に事故が発生し、労災保険が給付された場合、事業主は遡って労働保険料と併せて追徴金が徴収されるほか、労災保険給付に要した費用の全部または一部を徴収されることになります。

万が一、農作業事故にあってしまったら…

万が一、労災の補償の対象となる範囲で農作業中に事故に合いケガをされた場合には、なるべく早く病院・薬局で受診し、労災保険で手続きする旨を申し出てください。(健康保険を使用しないように気をつけてください)

その上で、ご本人またはご家族の方が農協の営農企画課まで給付請求する旨の連絡をしてください。給付請求書がありますので必要事項を記載し、病院・薬局に提出していただくようになります。(給付請求が遅れ、月をまたいだ場合や誤って健康保険を使用した場合、請求者の方の手続きが大変複雑となりますのでご注意ください)



営農資材の準備は「全量予約購買」で

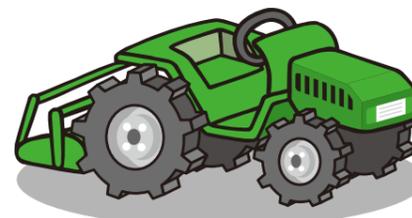
日頃より、営農資材業務に対しまして特段なるご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

営農説明会で注文書の説明をいたしました。予約購買により有利な価格での提供と計画的な配送を行いますので、春資材は全量取りまとめで予約されますようご案内いたします。

平成27年度 年間予約購買取り進めのご案内

分類	予約注文項目	内 訳	注文時期	予定締切日	配送時期	経 理 日	起算日(サイト)
1	第一次肥料	早取り	6月	7/10	6～9月	1/15	7/25
	第二次肥料	秋取り	9月	9/25	10～12月	1/15	7/25
	第三次肥料	春取り	1月	2/10	3～5月	6/25	7/27
2	水 稻 種 子		前年1月	2/10	3 月	5/25	—
	小 麦 種 子	秋小麦・春小麦	前々年6月	7/10	8～9月	11/25	—
	馬 鈴 薯 種 子		6月	7/10	10～11月	1/25	—
	豆 類 種 子	大豆・小豆	前々年9月	9/25	4～5月	7/27	—
	葱 類 種 子	長葱・玉葱	10月	9～11/末	12～1月	3/25	5/25
3	第一次農薬(年内取)	水田・畑作農薬	9月	9/25	12 月	5/25	10/26
	第二次農薬	//	1月	2/10	3～5月	7/27	10/26
	第三次農薬	水稲防除・小麦除草剤・畑作農薬	6月	7/10	7 月	10/26	—
4	第一次温床資材		9月	9/25	10～11月	1/25	8/25
	人工床土						6/24
	第二次温床資材		1月	2/10	3 月	5/25	8/25
	人工床土				3～4月	6/25	—
5	包 装	一般段ボール	6月	7/10	7～10月	11/25	—
		契約段ボール (主要生産組織計画発注引取者)	3月	3/25	指定納品日 (4～7月)11/25	—	
			6月	7/10	指定納品日 (8～10月)11/25	—	
9	小農機具副資材	春物	1月	2/10	随 時	6/25	10/26
		秋物	1月		随 時	10/26	—

農機具展示即売会 の開催について



組合員の皆様のニーズに応えるべく、安価な商品と情報の提供を目的として、農機具、副資材の展示即売会を開催いたしますので、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

- 日時 平成27年3月5日(木) 午前9時～午後3時
- 場所 ながめま農協資材センター構内
お問い合わせ TEL88-2189

J A 教育ローン 特別金利キャンペーン

平成27年5月29日(金)まで

変動金利型

年 1.8%

固定金利型

年 2.0%

※キャンペーン金利は金融情勢の変化により見直しさせていただくことがあります。



J A 教育ローンの店頭標準金利

●変動金利型 年 3.0% ●固定金利型 年 4.5% 平成27年2月2日現在

●ご利用いただける方

- ・借入時の年齢が20歳以上、完済時の年齢が71歳未満の方。
- ・勤続(営業)年数が1年以上の方。
- ・年収200万円以上の方。
- ・JAが指定する保証機関の保証を受けられる方。

●お使いみち

- ・高校以上の学校に就学予定または就学中の子弟の入学金、授業料、施設費およびアパート家賃等の教育に関する資金。

●ご融資金額

- ・10万円以上500万円以内(所要金額の範囲内)

●ご返済期間

- ・6ヶ月以上13年6ヶ月(在学期間+7年6ヶ月)以内。

●ご返済方法

- ・元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式)

●担保・保証

- ・担保: 無担保
- ・保証: 当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます。
※保証料が別途必要になります。(保証料率 年0.4%一括前取り)

●ご用意いただく書類

- 1 住民票(世帯票)
- 2 健康保険証(写)
- 3 所得証明書
(給与所得の方は、源泉徴収票または住民税決定通知書で可)
- 4 合格通知書、入学案内書及び募集要項、納付通知書など資金使途確認書類
- 5 その他JAが必要とする書類

※ローン商品の詳しい内容については、店頭に説明書をご用意しております。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
※店頭にて返済額の試算を承っております。 ※ご返済の滞りなどが発生した場合には、特別金利の適用を中止し、店頭標準金利に引き上げさせていただきます。
※貸付手数料、繰上返済手数料は無料です。
※ご利用に関しては、准組合員加入のための出資(1口5千円)が必要となります。

J A マイカーローン 特別金利キャンペーン

変動金利 1.8% 固定金利 2.0%

店頭表示金利: 変動金利型 3.0% 固定金利型 4.5% 平成27年2月2日現在

取扱期間: 平成27年2月2日(月)~11月30日(月)まで

J A マイカーローン商品概要

ご利用いただける方 ● 年齢満20歳以上65歳未満で最終償還時の年齢が満72歳未満、町内に在住または勤務が1年以上、安定した収入のある方で保証会社の保証を受けられる方。

使いみち ● 自動車(新車・中古車)の購入、車検・修理費用、運転免許取得資金、JA以外のマイカーローン借換...etc

ご融資金額 ● おひとり10万円以上500万円以内(所要資金の範囲内)

ご融資期間 ● 6か月以上7年以内

ご返済方法 ● 元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式)

担保・保証

- 担保: 無保証
- 保証: 保証機関の保証制度をご利用いただけます。
(別途、保証料が必要となります。)
保証料率 1.0% (分割後取り)
※H27年9月30日(水)までの借入の場合 0.85%
准組合員加入(1口5,000円出資)の場合
保証料率 0.7% (一括前取り)
※H27年9月30日(水)までの借入の場合 0.4%

お申込み必要書類 ● 見積書、印鑑、免許証、健康保険証、所得証明書、他行に借入れがある場合、残高と年間償還額の確認ができるもの。



※ローン商品の詳しい内容については、店頭に説明書をご用意しております。
※店頭にて返済額の試算を承っております。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。
※ご返済の滞りなどが発生した場合には、特別金利の適用を中止し、店頭表示金利に引き上げさせていただきます。

ご注意ください

●表示金利は、平成27年11月30日までに借入された場合の適用金利です。特別金利はお借入れ当初に適用されるもので、金融情勢などの変化により見直しさせていただきます場合があります。
●変動金利型の場合、年2回基準金利(長期プライムレート)の変動により、ご返済の金利が変動します。

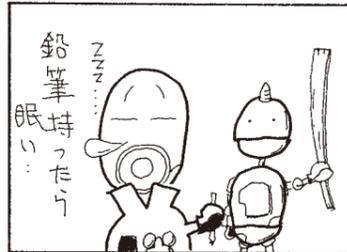
問い合わせ先

管理部 金融課 TEL88-2224

問い合わせ先

管理部 金融課 TEL88-2224

11 ながめま



ながめま産特産品のご紹介!



オニオンスープ
(長沼町開発)



長ネギ
ドレッシング
(長沼町開発)



大豆ピューレ



Ａコープながめま店にて、ながめま産原料を使用した特産品コーナーを設置しております。ご来店の際は、是非お買い求めください。

HOTEL emisia SAPPORO

館内全レストランでは、ながめま農産協同組合のみなさまのご協力のもと、ホテルエミシアが特産品〜産地産品を、ながめま産「ななつぼし米」をご提供しています。



100% 日本料理「雪花」

十勝彩美牛御膳 (全8品) お一人様 3,500円 (ランチ)
御膳の主役「牛ロース陶板焼き」には、十勝彩美牛を使用。料理長イチオシのランチです。



30% 中国料理「仙雲」

豪華フカヒレコース (全7品) お一人様 5,000円 (ランチ/ディナー)
フカヒレを贅沢に使用したお料理はもちろん、鮑やシェフ特製の湯引き料理をお楽しみいただけます。



大好評発売中! お得なスパ&レストラン共通利用券
スパ&レストランチケット 10枚 + スパご入浴券 1枚
11枚綴り・・・10,000円 (スパご入浴にてご使用の場合 通常28,600円相当!)

〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 011-895-8811 (代表)

平成25年産大豆精算について

国内産大豆の系統集荷数量は、全国で2,511千俵(前年比83%)、うち北海道704千俵(前年比91%)、JAながめま77千俵(前年比83%)と前年を下回る集荷実績となりました。

販売状況については、前年産価格上昇の流れを引き継ぎ一部問屋の当用買いなどにより、入札販売において強めの応札から始まりました。

一方、収穫量については当初、平年並みと見込まれておりましたが、府県産における登熟期の天候不順等による収量減が明らかとなり、減産情報が市場に浸透したことから、年明け2月以降は入札価格が上昇し、さらに

3月以降は先高を見越した原料確保を早める動きが強まったことで、道産大豆においてもとよまさり銘柄を中心に入札価格は大幅に上昇しました。

そのような中、系統販売においては、25年産の減産と入札価格高騰による国産大豆離れを回避するべく、契約栽培品の円滑かつ確実な受渡を実施すると共に、関係各所と調整の上入札販売計画の修正を実施し、国産大豆の安定供給に努めました。

また、実需者・業界団体に対しては需給環境を説明すると共に、必要以上の在庫積み増しを行わないよう申し入れを行うなど市場への円滑な流通に努め、継続的な販売及び受渡を進めてきた結果、9月末日をもって販売を完了いたしました。

平成25年産北海道産大豆全銘柄全等級平均価格は8,714円/60kgとなり前年産を2,378円/60kg上回りました。(価格は税抜き)

今後大豆販売に向けては国産流通価格の高騰に伴い、一部の実需者が輸入大豆への切替を図る動きを見せておりますため、実需者の引き留めと販売数量の確保を図るため、契約栽培と大口実需者を中心とした販売に努め、道産大豆の安定・有利販売に向け取り進めてまいります。

平成25年産大豆精算内訳

単位：60kg/円(税込)

銘柄	品 種	粒 度	等 級	品 代
とよまさり	トヨムスメ ユキホマレ トヨハルカ	大 粒	2 等	8,748
			3 等	8,568
		合 格	8,388	
	中 粒	3 等	8,386	
		合 格	8,206	
		合 格	7,584	
音更大袖振	音更大袖振	大 粒	3 等	9,940
			合 格	9,760
		中 粒	合 格	9,578
スズマル	スズマル	小 粒	合 格	8,956
			合 格	7,242
		極小粒	合 格	7,060
ユキシズカ	ユキシズカ	小 粒	2 等	7,138
			3 等	6,958
			合 格	6,778
		極小粒	3 等	6,776
			合 格	6,596
			合 格	6,596

合格おめでとう!

農協職員資格試験

初級 管理総務課総務係 保 科 舞	中級 管理総務課総務係 高 橋 雄 也	中級 管理総務課総務係 鰐 淵 陽 祐	上級 管理総務課総務係 澤 田 瞳
-------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------

理事会報告 - 第15・16回 -

《平成27年1月6日開催》

[議 案]

第1号 長沼町タンチョウとの共生検討会議委員の推薦について

《平成27年1月26日開催》

[議 案]

第1号 平成26年度決算見込みについて(12月末現在)

第2号 信用供与限度に係る承認について

第3号 役員報酬審議委員の委嘱について

第4号 平成27年度役員報酬の諮問額について

第5号 固定資産の除却について

第6号 組合員の資格変更並びに出資金減口について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 稲作農家の体質強化緊急対策事業について
3. 土地価格の推移及び平成27年度農地基準価格の設定について
4. 平成27年度クミカン利率について
5. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組 合 員 1,620名
 正 組 合 員 (883名)
 准 組 合 員 (737名)
 正組合員戸数 794戸

農協の動き 12/24~1/26

12月

24日 常勤理事と監事の意見交換会 於 農 協
 25日 アスパラ部会定期総会 於 農 協

1月

6日 理事会 於 農 協
 6日 役職員新年交礼会 於 農 協
 7日 空知管内農協組合長会豊稔祈願祭・新年交礼会 於 空知農業会館
 8・9日 空知管内J A冬期監事研修会 於 岩見沢市
 9日 第21回J A青年部通常総会 於 農 協
 10日 新旧役員新年交礼会 於 農 協
 13日 いちご部会定期総会 於 農 協
 13~15日 (一社)北海道経営審査協会 内部審査 於 農 協
 14日 第21回J A女性部通常総会 於 農 協
 14日 園芸連青年部定期総会 於 農 協
 15日 事業推進員会議 於 農 協
 15日 米の生産数量に係る地区代表者会議 於 農 協
 16日 きゅうり生産組合定期総会 於 農 協
 16日 長葱生産組合定期総会 於 農 協
 19日 南瓜生産組合定期総会 於 農 協
 19日 ブロッコリー部会定期総会 於 農 協
 19~23日 営農説明会 於 各行政区会館
 20日 白菜部会定期総会 於 農 協
 21日 トマト生産組合定期総会 於 農 協
 21日 キタアカリ部会定期総会 於 農 協
 22日 南空知J A常参総OB会 於 岩見沢市
 23日 ながぬま和牛改良組合総会 於 農 協
 24日 ながぬま農協職員OB会新年交礼会 於 農 協
 26日 総務経済対策委員会 於 農 協
 26日 子会社経営協議会 於 農 協
 26日 理事会 於 農 協



最新の営農技術から
農畜産物の市場見通まで

購読のお申し込みはJAへ

日本農業新聞
<http://www.nogyo-journal.co.jp>